

チャペル週報

わたしは彼らに一つの心を与え、
彼らの中に新しい霊を授ける。
わたしは彼らの肉から石の心を除き、
肉の心を与える。

(エゼキエル書11:19)



2011.6.6~6.10 No.8
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月6日(月)	<p>神 平 本 紗 慧(神4)</p> <p>人 讃美歌と校歌に親しもう① 関 田 義 之(経済学部OB)</p> <p>音 楽チャペル ゴスペルクワイア(P.O.V.)</p> <p>聖和 聖書物語「神さまからの 十のいましめ」</p>
6月7日(火)	<p>神 <アジア・エキュメニカル週間を覚えて></p> <p>文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)</p> <p>社 チャペル・ギター・コンサート 社会学部生有志</p> <p>法 ボランティア活動の奨め1 NPOかめのすけ</p> <p>経 讃美歌と校歌に親しもう② 関 田 義 之(経済学部OB)</p> <p>商 畠 山 保 男(キリスト教と文化研究センター教授)</p> <p>国 ペンテコステをおぼえて 平 林 孝 裕(宗教主事)</p> <p>聖和 杉 浦 健(関西学院ヒューマンサービスセンター)</p> <p>総 関西学院ハンドベルクワイア(音楽チャペル)</p>
6月8日(水)	<p>神 <奨学金授与礼拝>「主の愛で満たしてください」日本基督教団 東梅田教会牧師 小豆真人</p> <p>社 大学生であるということ⑥ 打 樋 啓 史(宗教主事)</p> <p>法 ペンテコステ</p> <p>English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)</p> <p>商 音楽チャペル ハンドベルクワイア</p> <p>人 上 山 美津穂(人間福祉学部3年)</p> <p>国 「世界市民となるために②」榎 本 悟(国際学部教授)</p> <p>聖和 田 淵 結(教育学部宗教主事)</p> <p>理 映像に学ぶ「生と死を見つめてーガンジスの火葬場とキリスト教」</p> <p>総 村 瀬 義 史(宗教主事)</p>
6月9日(木)	<p>神 中 田 道 隆(M1)</p> <p>音 楽チャペル 聖歌隊</p> <p>社 春の人権チャペル 大 岡 栄 美(社会学部准教授)</p> <p>法 ボランティア活動の奨め2 NPOかめのすけ</p> <p>経 讃美歌と校歌に親しもう(最終回)関 田 義 之(経済学部OB)</p> <p>商 山 本 俊 正(宗教主事)</p> <p>国 English Chapel Jun Nagatomo(国際学部専任講師)</p> <p>聖和 「今、この瞬間に」吉 見 真 希(聖和大学卒業生)</p> <p>総 本 田 盛(総合政策学部教授)</p>
6月10日(金)	<p>院 今 井 孝 司(神学部院生)</p> <p>神 <震災を覚えて>「全知全能?」日本基督教団 神戸東部教会牧師 古澤啓太</p> <p>文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)</p> <p>経 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア</p> <p>人 木 原 桂 二(北山バプテスト教会牧師)</p> <p>聖和 「聖和という場所」横 島 江梨佳(人文学部教学補佐)</p> <p>理 「逆転の発想」松 木 真 一(宗教主事)</p>

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月10日(金)ペンテコステ(6/12)を迎えるにあたって 舟 木 讓

新入生の皆さんへ

～今、大学は皆さんを変えられるのか？～

高 畑 由 起 夫

20世紀初頭、新入生たちは大学から圧倒的な文化的ショックを受けました。これがハンス・カロッサの小説のタイトル“美しき惑いの年”です。夏目漱石の『三四郎』でも、熊本から上京した主人公はすべてに翻弄されます。時代が動き、目覚めない者を置き去りにしていく（“赤の女王仮説”を彷彿とさせます）。「(日本は) 滅びるね」という言葉、「光線の圧力を試験する」という先輩、そして女性によせる淡い思いははかなく断ち切られる。あとは、そこから己をどう変えていくのか、それが課題として残されます。

一方、同時代の小説『あしながおじさん』の主人公ジョディにとって、大学は孤児院の閉鎖社会からの脱出であり、自分の能力を見つけ、それを試すチャンスでした。“教養”を身につけ、なにより孤児院の外の“世間”を知ることで、幼虫がさなぎを経て蝶に変身するのです。

残念ながら、今日の大学にはこうした新入生への衝撃力が落ちているようです。皆さんにとって、どんな話もTVやWeb等の映像で先刻ご承知、PCをクリックすれば世界中からどんな知識も得られる。大学で学ぶことがどんな意味を持つのだろうか？と思っても当然というべきです。

それでは、大学での学びに意味があるのか？ おそらく、それは“ものの見方”、そして、それを通じて問題を一つ一つ解決していくやり方を身につけることでしょう。これこそが教養です。同じ“もの”を見ても、人によって解釈は異なります。万有引力をニュートンが理論化するまで、リンゴの実はむなしく地に落ちていました。アダム・スミスがあらわれるまで、商業という人の営みは、宗教からも、世間から軽視されていました。それが、ある時、“啓示”を受けたように、人々の目から鱗が落ちる（使徒言行録第9章18節）。

世界は謎に満ちていますが、その謎が謎だと気付くこと自体に、やはり“訓練”が必要であり、その謎を解くためには知識が要る。大学とは、先生方も含めて様々な人たちと出会い／交流することで、意識せぬうちに訓練を積み、知らぬうちに知識を蓄える場所だと言えそうです。そのためには、知らぬ人と出会い、知らぬ土地を尋ね、読んだことのない本を手取る。そうすれば、皆さんのまわりの世界が、それまでとは変わって見えてくるはずです。

(総合政策学部教授)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のミニ・コンサートを開催しています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月7日(火) 関西学院聖歌隊

6月9日(木) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

6月13日(月) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

6月16日(木) 関西学院バロックアンサンブル

いずれも12時50分から13時20分まで、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00~18:20 1405教室)

6月10日(金) 樋口 進 (宗教センター宗教主事)

6月17日(金) 田淵 結 (教育学部宗教主事、宗教総主事)

6月24日(金) 樋口 進 (宗教センター宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月12日(日)、26日(日) 午前10時~11時

関西学院会館ベーツチャペル

●ランバスチャペルアワーのお知らせ

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。

と き : 6月28日(火) 10:35~11:05

と ころ : 西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会の(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。